ハロゲン
リモコンピンスポットライト
１KW
URC－１００２D／e型
取扱説明書

目次

１． 特徴

（１）灯体（ＵＲＣ－１００２Ｄ／ｅ）

●１ＫＷのハロゲン電球を光源とする灯体（ＵＨＰ－１０００と同等）の上下左右動作に加え、アイリスシャッタの開閉、電球のＯＮ／ＯＦＦをリモートコントロール制御できます。

●USITT DMX512/1990*1に準拠したＤＭＸ信号を６チャンネル使用してリモートコントロール制御がきます。専用コントローラー（ＵＲＣ－ＤＣＢ）および、メモリ機能のある調光卓（ＤＭＸ卓）を使用すれば、ポジションの記憶制御が行えます。
*1:United States Institute for Theatre Technology,inc.の略です。

●灯体毎に、ＤＭＸファーストアドレス設定スイッチを搭載しており、複数灯体および他のＤＭＸ信号で制御される機器との混在一括制御が可能です。また、ＤＭＸ信号は、灯体の電源がＯＮの場合は、バッファリングを行い、ＯＦＦの場合は、スルーとなりますので、トラブルを生じた灯体の電源を切っても他の機器に影響を与えません。

●電球回路と電球冷却ファン・排気ファン回路が切り離せるため、調光電源による電球の調光が可能です。

（２）専用コントローラー（ＵＲＣ－ＤＣＢ）

●上下（ＴＩＬＴ）と左右（ＰＡＮ）のポジションを１０ポジションまで記憶再生できます。再生時は、最高速で動作します。

●灯体と１対１で使用する専用コントローラーで、レクチャー卓に埋め込むタイプです。また、据え置きタイプ（ボックス）もオプションで用意しています。

●アイリスシャッタは、スイッチの１アクションで、全閉および位置指定による開操作ができます。ボリュームツマミによる無段階開閉もできます。

●上下左右動作は、スピード制御ができます。最低速度は、最高速度の７％の設定になっています。

（参考）
現行品（URC-652,URC-1001）とのスピード比較（当社比）

	URC-652,URC-1001	URC-1002D
上下回転速度：	1.8°～4.5°／秒(1/900)	0.6°～8.1°／秒(1/300)
左右回転速度：	3.0°～8.2°／秒(1/500)	0.7°～9.4°／秒(1/300)

注)( )は､ｷﾞｱﾍｯﾄﾞ減速比

上下スピードＭＡＸ：約１．８倍
左右スピードＭＡＸ：約１．２倍

２．安全にお使いいただくために

⚠ 警　告


●演出空間用の照明器具です。演出空間の用途以外には、使用しないでください。
一般用照明器具として使用する製品ではありません。


●器具の本体重量に見合った取付金具を使用してください。
取付金具の選定を間違うと落下し、物的損害・けがの原因となります。


●器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面（照射方向を除く）との最小距離を本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとって、取付けてください。
指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。


●集光形照明器具と被照射面の距離は、本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとってください。
指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。


●器具の使用角度に制限があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく使用してください。
使用角度範囲を越えると、器具の破損、電球の破裂の原因となります。


●器具の取付・設置時は、電源コードを器具本体に接触しないように取付けてください。
接触していると火災の原因となります。


●器具の点灯中及び消灯直後は、本体周辺を素手で触らないでください。
本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。


●フィルタホルダの押さえ金具（固定ネジ）を確実にとめてください。
押さえ金具を確実に止めないとフィルタホルダが落下し、物的損害・けがの原因となります。


●フィルタホルダは、適合品を使用してください。
フィルタホルダの破損・変形したものを使用すると落下し、物的損害・けがの原因となります。


●器具を分解したり改造しないでください。
故障・感電・火災の原因となります。


●煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。


●異常の時は、すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。
容易に原因の究明ができない場合は、弊社に修理依頼をしてください。

⚠ 注　意

１．使用環境・使用条件について

●この器具は屋内用です。屋外で使用しないでください。
屋外で使用すると、感電・火災の原因となることがあります。

●この器具は最高周囲温度以下で使用してください。
破損・変形・火災と電球の破裂の原因となることがあります。

●湿気や水気のあるところで使用してないでください。
感電・火災の原因となることがあります。

●不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。
倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。

●電球は、指定された電球を使用してください。
指定以外（適合しない）の電球を使用すると、器具の破損・電球の破裂の原因となります。

２．取付・設置について

●器具の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。

●器具の取付・設置は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。

●据付施工は、電気工事士などの熟練者（専門家）が行ってください。
未熟者だけでの対応は、間違いの原因となるおそれがあります。

●器具の取付・設置に方向性があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。

●器具の取付・設置には、器具本体に落下防止ワイヤを取扱説明書に従って正しく取付けてください。
確実に取付けないと取付金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因となります。

●器具の差し込み枠にフィルタホルダ等を装着する場合は、差し込み枠の許容重量に見合ったフィルタホルダ等を使用してください。
器具本体の破損、フィルタホルダ等が落下し、物的損害・けがの原因となります。

●器具はアース接続（Ｄ種接地）してください。
アース接続をしないと感電・故障の原因となることがあります。

３．使用前の準備について

●器具の使用前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。

●器具の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。

●電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。
接続が不完全な場合は、接触不良により火災の原因となります。

●器具内部の輸送用緩衝材などを取り外して使用してください。
残材があった場合は、器具の破損・火災の原因となります。

●電球の取扱いは、電球の取扱説明書または注意書きをよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。

●電球の装着は、電球ソケットに確実に装着してください。
確実に装着されないと電球・電球ソケットの破損の原因となります。

４．使用方法について

●器具を取扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。

●器具の取付に方向性があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。

●器具の取付けには、器具本体に落下防止ワイヤを取扱説明書に従って正しく取付けてください。
確実に取付けないと取付金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因となります。

●器具はアース接続（Ｄ種接地）してください。
アース接続をしないと感電・故障の原因となることがあります。

●器具の差し込み枠にフィルタホルダ等を装着する場合は、差し込み枠の許容重量に見合ったフィルタホルダ等を使用してください。
器具本体の破損、フィルタホルダ等が落下し、物的損害・けがの原因となります。

⚠ 注　意

●地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が、点検を行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。

５．保守点検について

●器具は、日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置してください。

●器具の点検（整備）は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。

●電球交換、部品交換、清掃時は、必ず電源を切ってください。
電源を切らないと感電することがあります。

●電源コード、接続器は日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
感電・火災の原因となることがあります。

●電球ソケット、リフレクタは点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
感電・故障の原因となることがあります。

●レンズの清掃は、レンズに傷をつけないように取扱説明書に従って実施してください。
レンズの破損・けがの原因となります。

●器具のネジ類は、振動等で緩む場合があり取扱説明書に基づき処置してください。
故障、落下による物的損害・けがの原因となります。

●埃や紙吹雪が溜まったままで使用しないでください。
火災の原因となります。

●電球の取扱いは、電球の取扱説明書または注意書きをよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。

●電球は、指定された電球を使用してください。
指定以外（適合しない）の電球を使用すると、器具の破損・電球の破裂の原因となります。

●電球の装着は、電球ソケットに確実に装着してください。
確実に装着されないと電球・電球ソケットの破損の原因となります。

●交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。
器具の機能劣化・故障・感電・火災の原因となります。

●日常点検の他に弊社専門家による定期点検を実施してください。
器具の機能劣化・故障・感電・火災の原因となります。

６．保管時の禁止について

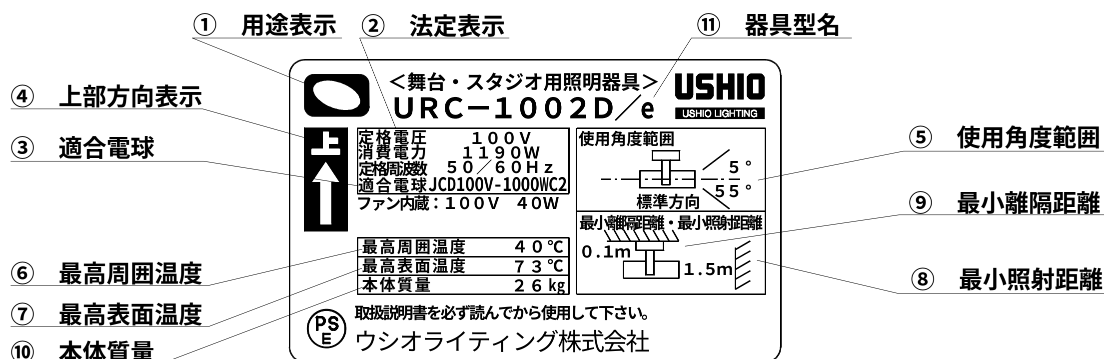
●埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい環境に保管しないでください。
故障・絶縁不良の原因となります。

●再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。
感電・火災の原因となるおそれがあります。

３．本体表示銘板と表示内容

照明器具の本体に下記の銘板を表示してあります。
取扱いの時には、必ず内容を確認のうえ、安全にご使用ください。

（1）本体表示銘板

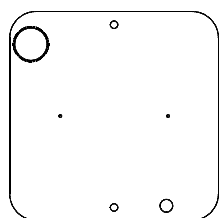


（2）表示内容

①用途表示	：	「演出空間用照明器具」であることを表します。 演出空間の用途以外では使用しないでください。
②法定表示	：	電気用品安全法の規定による「製造事業者名」「定格電圧」「定格消費電力」 「定格周波数」等を表示しています。
③適合電球	：	適合電球を商品型名で表示しています。
④上部方向表示	：	照明器具の上方向を表示しています。必ず矢印の方向を上にして取付けてください。
⑤使用角度範囲	：	基準方向に対する使用角度の許容範囲を表示しています。 許容範囲内で使用してください。
⑥最高周囲温度	：	通常の使用状態で連続動作させてもよい最高周囲温度を表示しています。
⑦最高表面温度	：	使用角度範囲において連続点灯したときの外面温度の最高値を表示しています。
⑧最小照射距離	：	通常の連続点灯させたとき、被照射対象物（黒色ボード）の温度が９０度に達する最小距離を表示しています。
⑨最小離隔距離	：	通常の連続点灯させたとき、可燃物（黒色ボード）の温度が９０度に達する最小距離を表示しています。
⑩本体質量	：	付属品を含まない照明器具本体（電球を含む）質量を表示しています。
⑪器具型名	：	型式名称を表示しています。

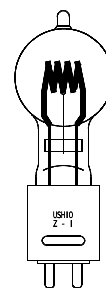
４．機器構成

①　灯体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ＵＲＣ－１００２Ｄ／ｅ
②　適合電球・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ＪＣＤ１００Ｖ－１０００ＷＣ２
③　ハンガー吊り用天板・・・・・・・・・・・・・・・（オプション）
④　専用コントローラー・・・・・・・・・・・・・・・ＵＲＣ－ＤＣＢ
⑤　ＵＲＣ－ＤＣＢ用１連ボックス・・・・・ＵＲＣ－ＤＣＢ／Ｂ１（オプション）
⑥　ＵＲＣ－ＤＣＢ用２連ボックス・・・・・ＵＲＣ－ＤＣＢ／Ｂ２（オプション）

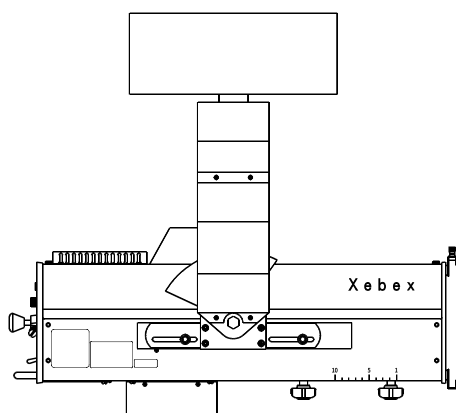


×２
付属品：取付ネジ

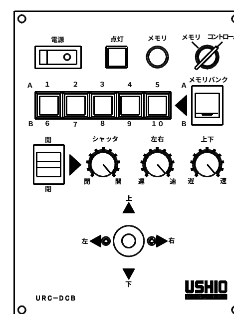
ハンガー吊り用天板（オプション）



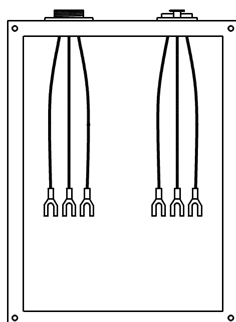
JCD100V−1000WC2

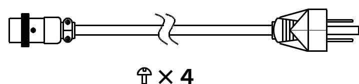


ＵＲＣ−１００２Ｄ／ｅ



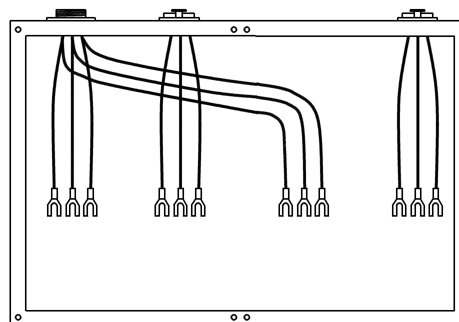
ＵＲＣ−ＤＣＢ

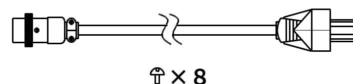




×４
付属品：電源ケーブルと取付ネジ

ＵＲＣ−ＤＣＢ／Ｂ１（オプション）



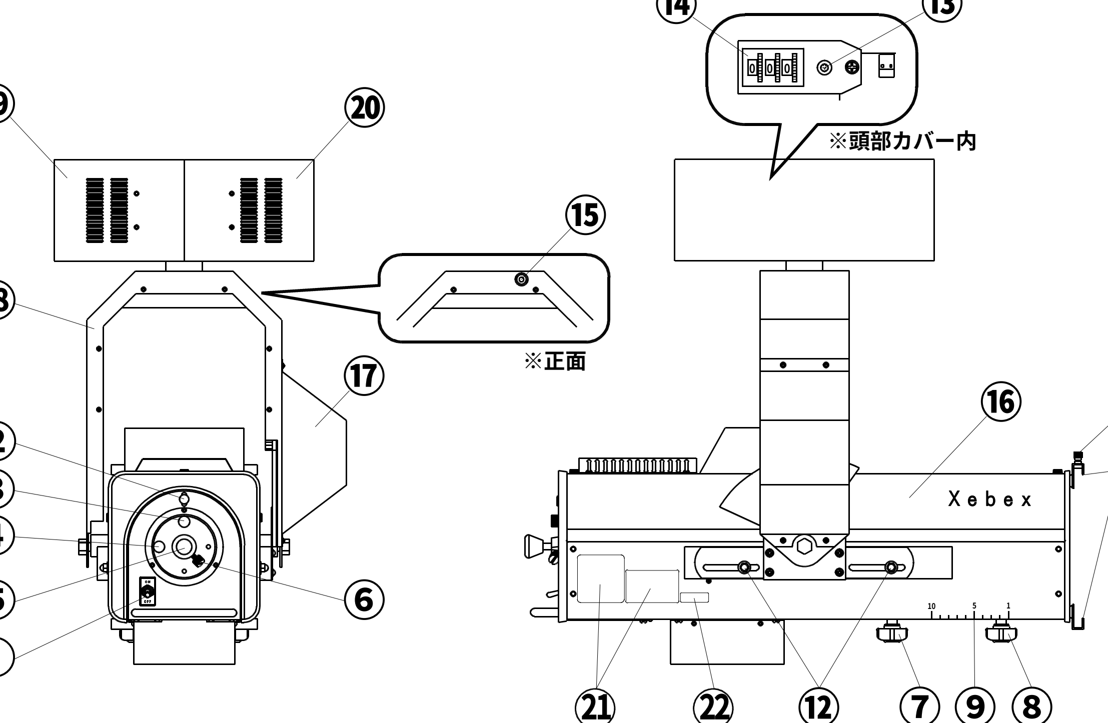


×８
付属品：電源ケーブルと取付ネジ

ＵＲＣ−ＤＣＢ／Ｂ２（オプション）

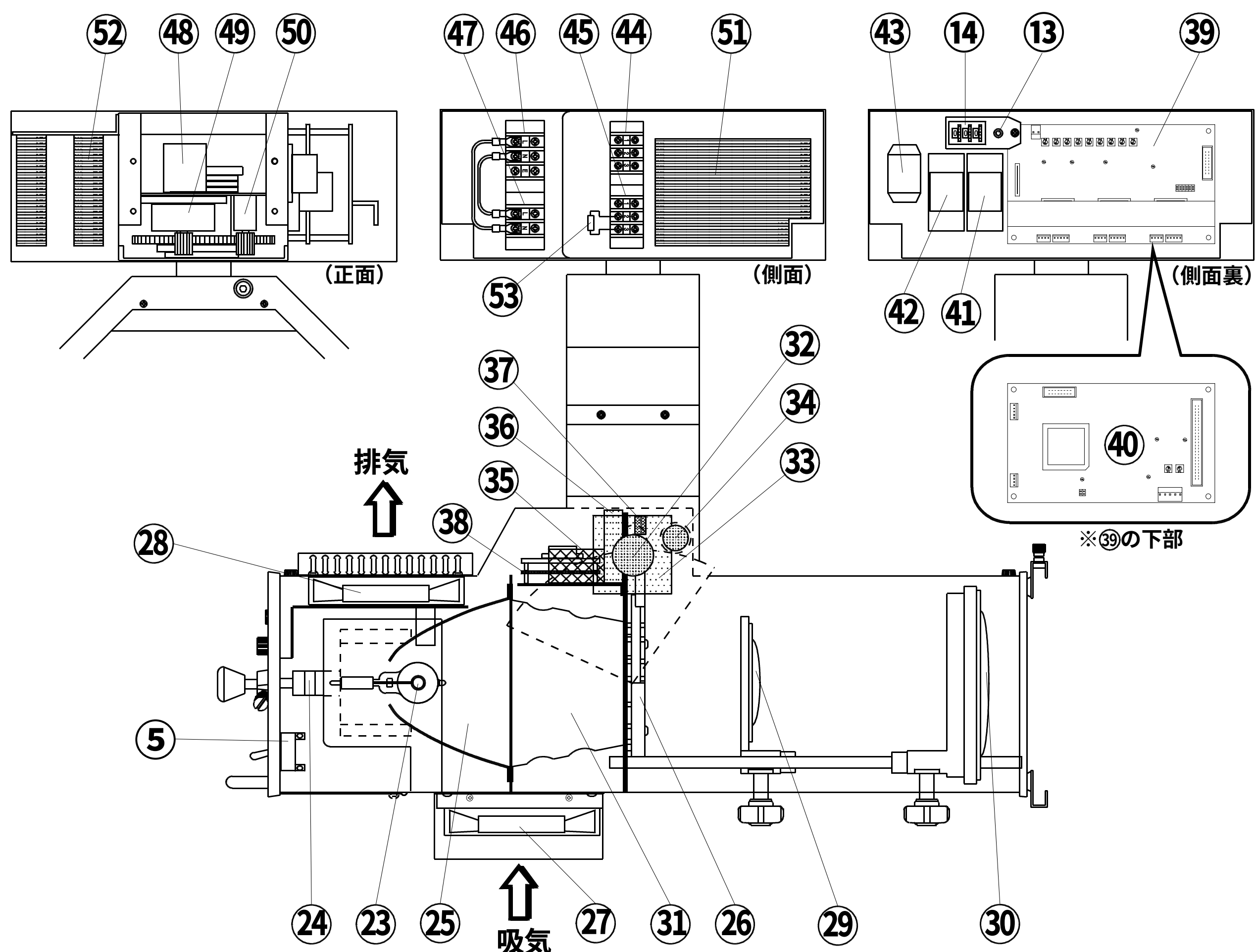
５．各部の名称

（１）灯体



№	名　称	機　能
1	電源スイッチ	電球のＯＮ／ＯＦＦを行うスイッチです
2	後カバー開閉用ネジ	電球交換を行う際に後カバーを開閉するためのネジです
3	電球上下調整ネジ	電球調整の際に電球を上下に動かすためのネジです
4	電球左右調整ネジ	電球調整の際に電球を左右に動かすためのネジです
5	電球前後調整ノブ	電球調整の際に電球を前後に動かすためのノブです
6	電球前後調整固定ネジ	５を固定するためのネジです
7	フォーカス調整ハンドル	後玉レンズを前後に調節するハンドルです
8	ズーム調整ハンドル	前玉レンズを前後に調節するハンドルです
9	ズーム目盛	ズーム径を調整する時の目安にします
10	差し込み枠固定ネジ	カラーチェンジャーやフィルタホルダを固定するネジです
11	差し込み枠	カラーチェンジャーやフィルタホルダの取付金具です
12	灯体バランス調整固定ネジ	灯体のバランス（重心）を調整できます（４本）
13	DMX信号ﾓﾆﾀｰLEDﾗﾝﾌﾟ(緑)	ＤＭＸ信号を受信している場合に点灯します
14	DMXﾌｧｰｽﾄｱﾄﾞﾚｽ設定ｽｲｯﾁ	灯体が使用するアドレスの開始チャンネルを設定します
15	灯体位置（左右）調整ネジ	設置方向により投光位置をカバーできない場合に使用します
16	本体カバー	メンテナンス時に開けます
17	チルトモータカバー	メンテナス時に開けます
18	旋回アーム	灯体を支え左右に旋回します
19	頭部カバー（左）	メンテナンスおよび設置時に開けます
20	頭部カバー（右）	メンテナンスおよび設置時に開けます
21	警告銘板	ＰＬ表示です
22	機器銘板	製造番号、製造年月が記載されています

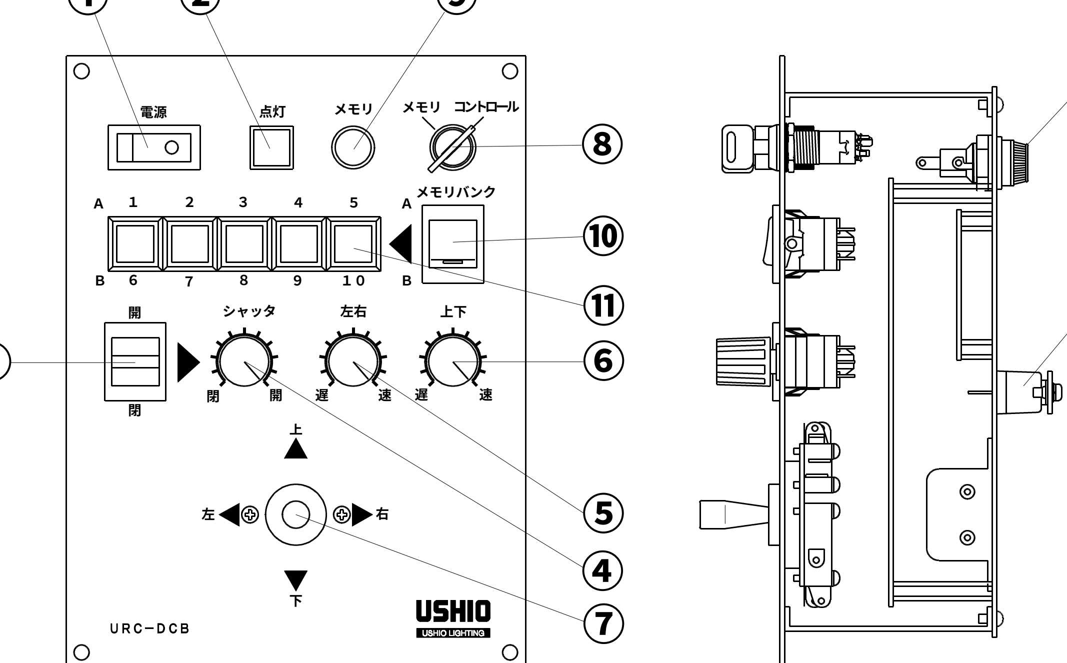
（２）灯体内部



№	名　称
23	電球(JCD100V-1000WC2)
24	電球ソケット(J-10)
25	リフレクタ(金属ミラー)
26	アイリスシャッタ(URC-651)
１	電源スイッチ(S-331T)
27	電球冷却ファン(109S081)
28	排気ファン(109S081)
29	後玉レンズ
30	前玉レンズ
31	風導カバー
32	ＴＩＬＴモータ
33	ＴＩＬＴギアヘッド
34	ＴＩＬＴポテンショメータ
35	ＩＲＩＳモータ
36	ＩＲＩＳギアヘッド
37	ＩＲＩＳポテンショメータ
38	接続基板(SA-20)

№	名　称
39	モータドライブ基板(DRV-PF3)
40	通信基板（受信）(DMX-DA)
13	信号モニター用ＬＥＤ
14	サムロータリースイッチ
41	モータ回路ＯＮ／ＯＦＦリレー
42	ファン回路ＯＮ／ＯＦＦリレー
43	点灯パワーリレー
44	３Ｐ端子台：ＤＭＸ　ＩＮ
45	３Ｐ端子台：ＤＭＸ　ＯＵＴ
46	３Ｐ端子台：入力電源
47	２Ｐ端子台：調光電源
48	ＰＡＮモータ
49	ＰＡＮギアヘッド
50	ＰＡＮポテンショメータ
51	ＤＣ２４Ｖスイッチング電源
52	ＤＣ±１５Ｖ／５Ｖスイッチング電源
53	１２０Ω１／４Ｗ終端抵抗　※最終灯体取付推奨

（３）専用コントローラー



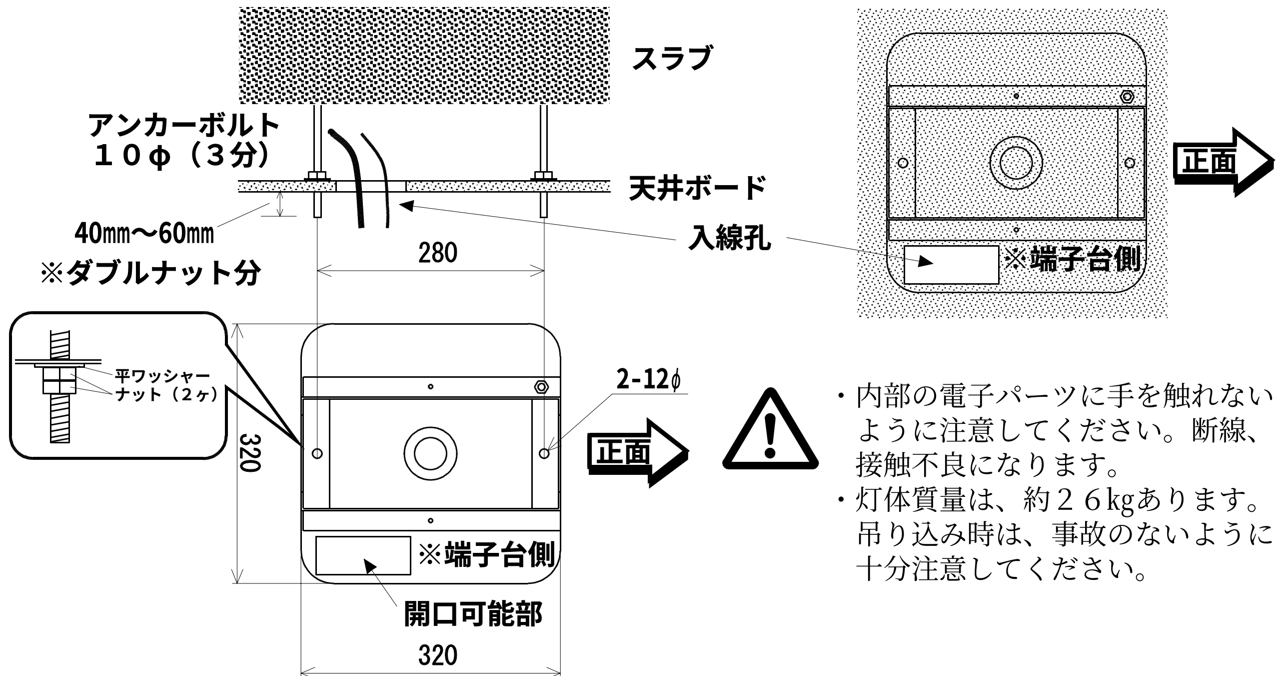
№	名　称	機　能
1	電源スイッチ	入力電源のＯＮ／ＯＦＦを行うスイッチです
2	点灯スイッチ	電球のＯＮ／ＯＦＦを行うスイッチです
3	シャッタ開閉スイッチ	全閉とシャッタボリューム調整位置まで開けるスイッチです
4	シャッタ開閉調整ボリューム	シャッタの開閉により投光円の大きさを調整します
5	左右スピード調整ボリューム	灯体の左右（ＰＡＮ）スピードを調整します
6	上下スピード調整ボリューム	灯体の上下（ＴＩＬＴ）スピードを調整します
7	ジョイスティック	灯体を上下（ＴＩＬＴ）左右（ＰＡＮ）に動かします
8	キースイッチ	メモリ記憶操作と通常操作の切替を行うスイッチです
9	メモリスイッチ	メモリ記憶操作のための１アクション追加スイッチです
10	メモリバンク切替スイッチ	１バンク５メモリのＡ／Ｂバンク切替を行うスイッチです
11	メモリボタン	メモリの再生操作（ポジション再生）を行うスイッチ
12	ヒューズホルダ	電子回路を保護します（ヒューズ３Ａ　ＦＡＳＴ　５×２０）
13	７Ｐ端子台	商用電源線（AC100V）と信号線（DMX）を接続します

６．セッティング

（１）灯体の設置

（ａ）常設

- 灯体頭部のカバー（４本のネジ）を外して取り付けます。
- 施工段階で、スラブ等に強固に固定されたアンカーボルト２本により、灯体を設置します。アンカーボルトには、必ずダブルナットで固定してください。

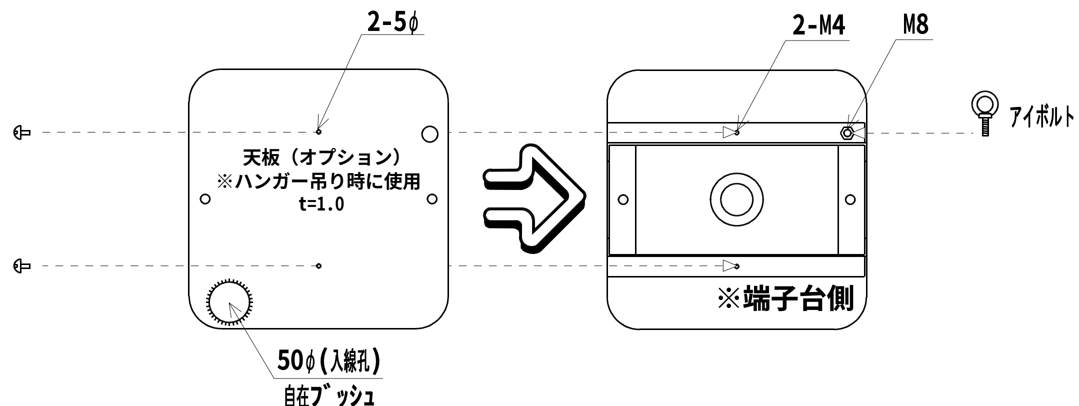


（ｂ）ハンガー吊り（オプション）

注意 灯体をハンガーを用いて吊す場合は、事故防止と埃よけの目的で、天板（オプション）を用意しています。また、落下防止ワイヤー（オプション）及びアイボルト（オプション）も用意しています。弊社までお問い合わせください。

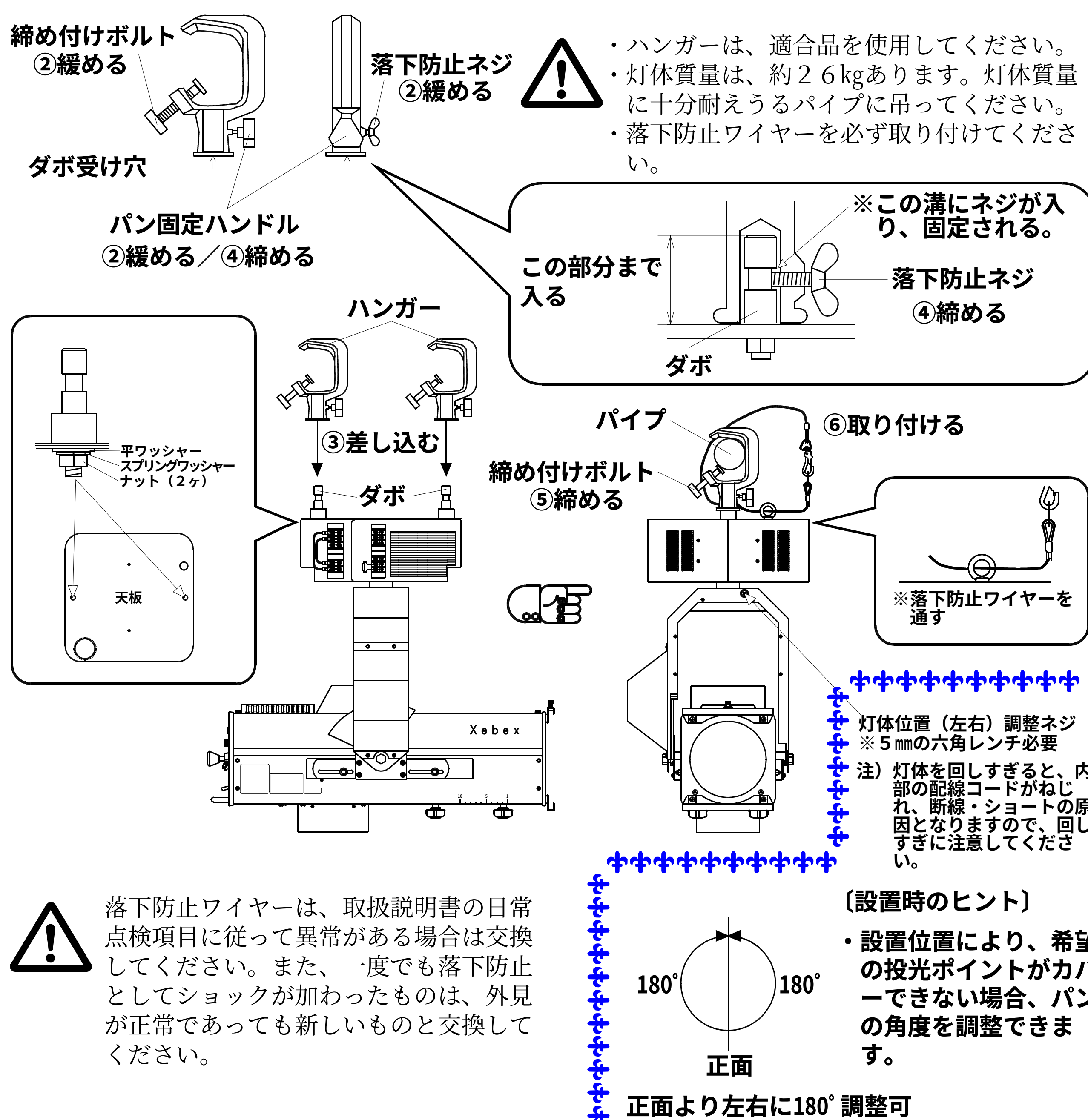
≪天板の取付方法≫

・天板の付属のネジ２本で、天板を取り付けます。入線孔の位置が端子台側にくるように取り付けてください。それから、アイボルトを取り付けます。



代表的なハンガーの取付例です。その他のハンガーをご使用になる場合には、それぞれのハンガーの資料を参照してください。

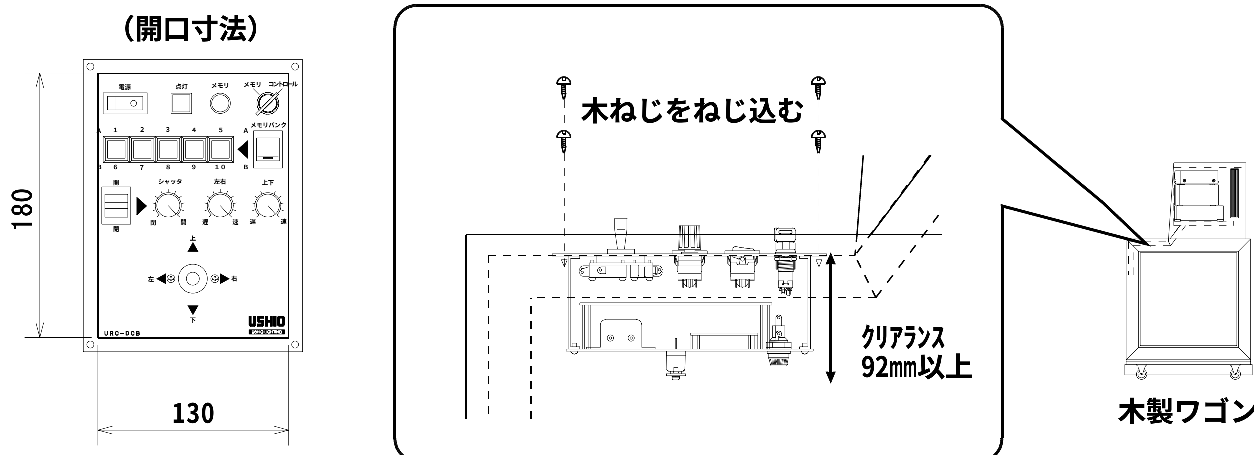
①灯体の頭部カバー（４本のネジ）を外して、ダボを取り付けます。天板を付けている場合は、天板ごと挟み込んで取り付けます。その後、頭部カバーを付けます。
②ダボが入るように、落下防止ネジ、パン固定ハンドルを緩めてください。また、締め付けボルトをパイプがセットできるように緩めてください。
③灯体のダボをハンガーのダボ受け穴に最後までしっかりと差し込んでください。
④落下防止ネジを確実に締め付けて、ハンガーが外れないことを確認してください。確認した後、パン固定ハンドルを締めてください。
⑤パイプにハンガーを掛け、締め付けボルトで、しっかり固定してください。
⑥落下防止ワイヤーをパイプに廻し、ナス環をアイボルトに通して、ワイヤーの取付金具に確実に取り付けてください。



（２）専用コントローラーの設置

（ａ）埋め込み

専用コントローラー（ＵＲＣ－ＤＣＢ）は、ワゴンなどに埋め込むタイプとして設計されています。４㎜の木ねじ４本を使用して取り付けます。

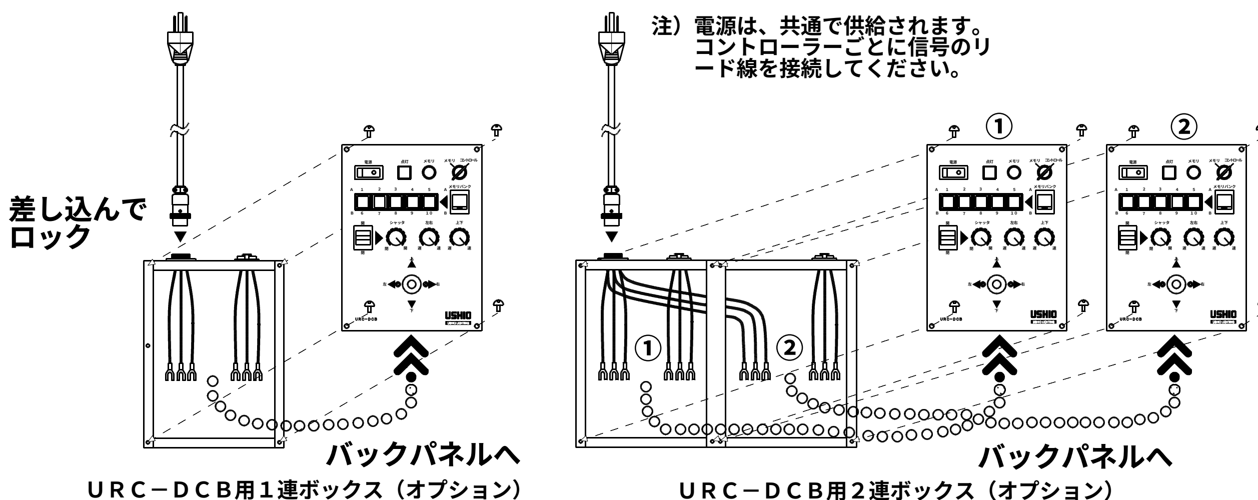


（ｂ）据え置き（オプション）

専用コントローラー（ＵＲＣ－ＤＣＢ）をボックスに埋め込むことで、据え置きタイプとして利用できるように、オプションでボックス（別売）のみを用意しています。１台用の１連ボックスと２台用の２連ボックスがあります。付属品として電源ケーブルと取付ネジが付いています。＋ドライバー一本で組み立てられます。

《組立方法》

・チューブ番号通りにＹ端子をコントローラーの端子台へ接続してから、ボックスへ収納し、ネジで取り付けます。

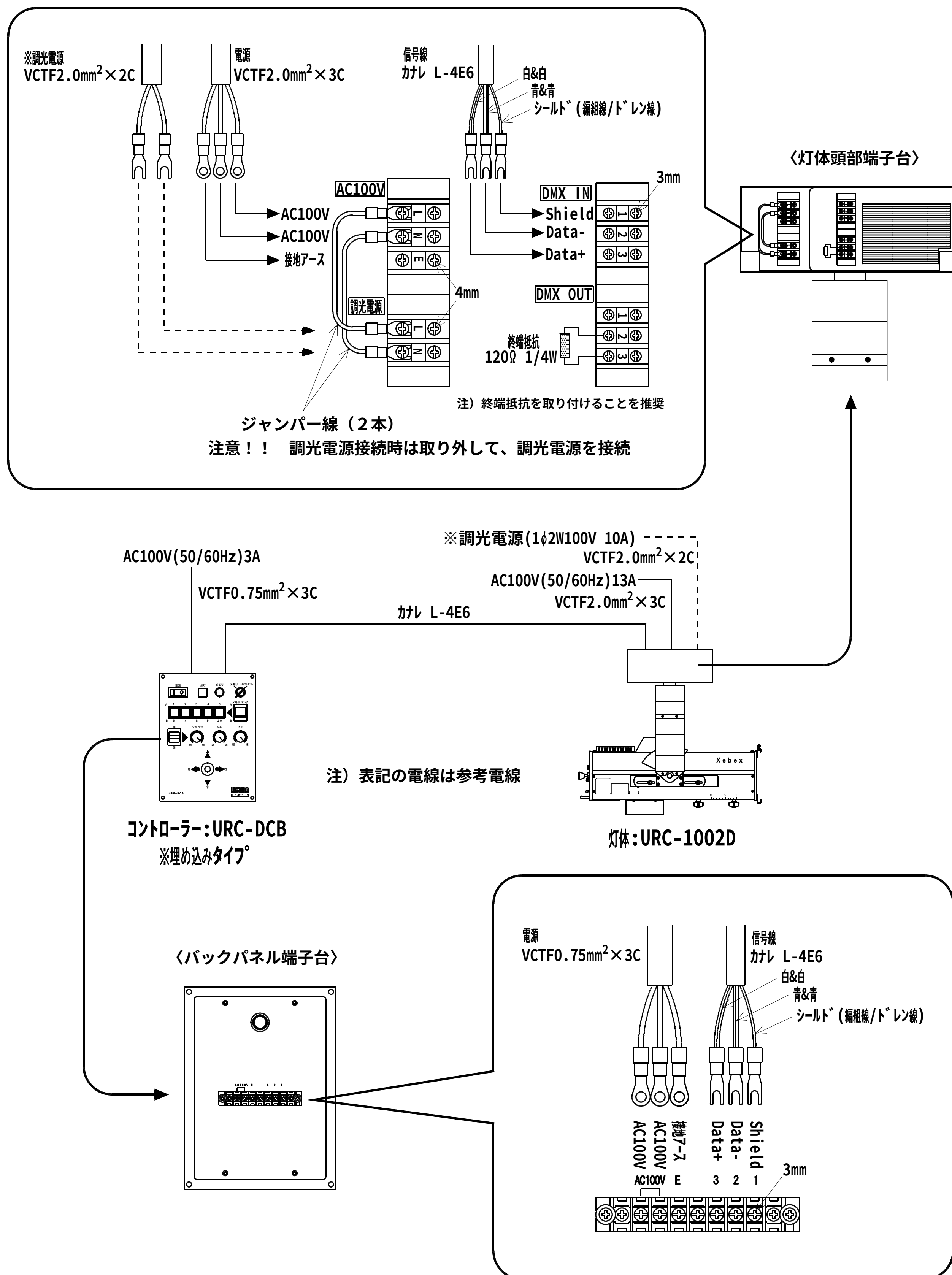


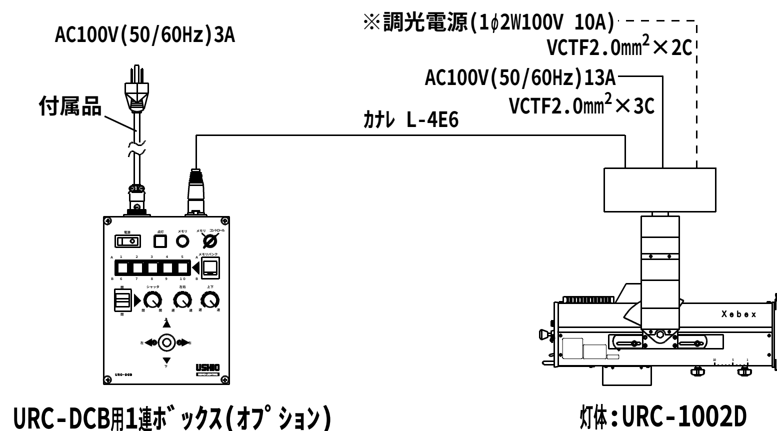
ＵＲＣ－ＤＣＢ用１連ボックス（オプション）　ＵＲＣ－ＤＣＢ用２連ボックス（オプション）

	チューブ番号		端子台番号
電源	AC100V	→	AC100V
	AC100V	→	AC100V
	E	→	E(接地アース)
信号	1	→	1(Shield)
	2	→	2(Data-)
	3	→	3(Data+)

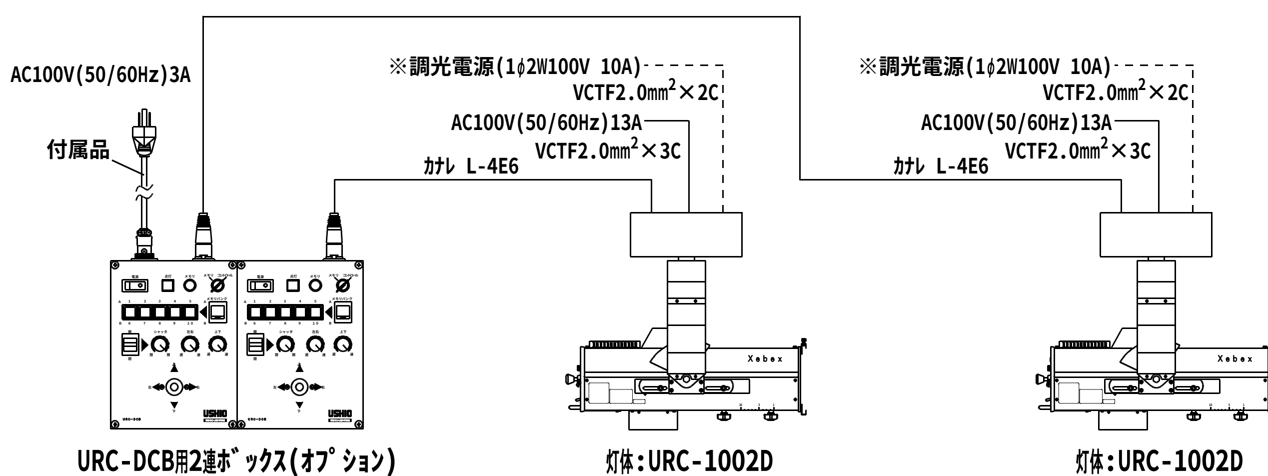
（３）接続・結線

（ａ）専用コントローラー

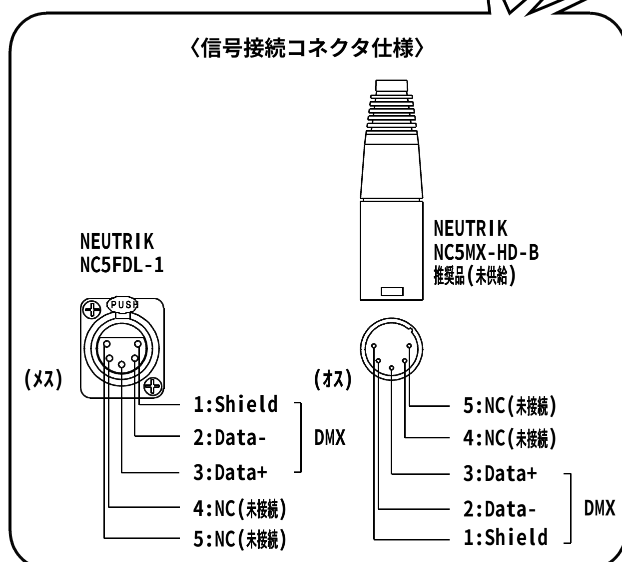


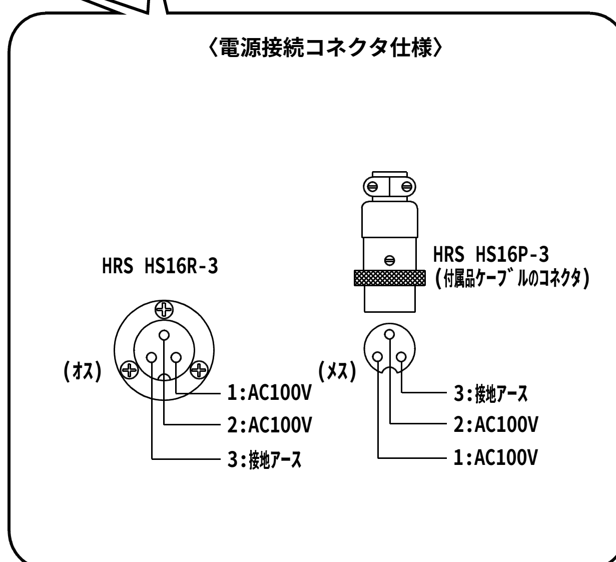


注）表記の電線は参考電線
　　灯体への接続は、前ページを参照

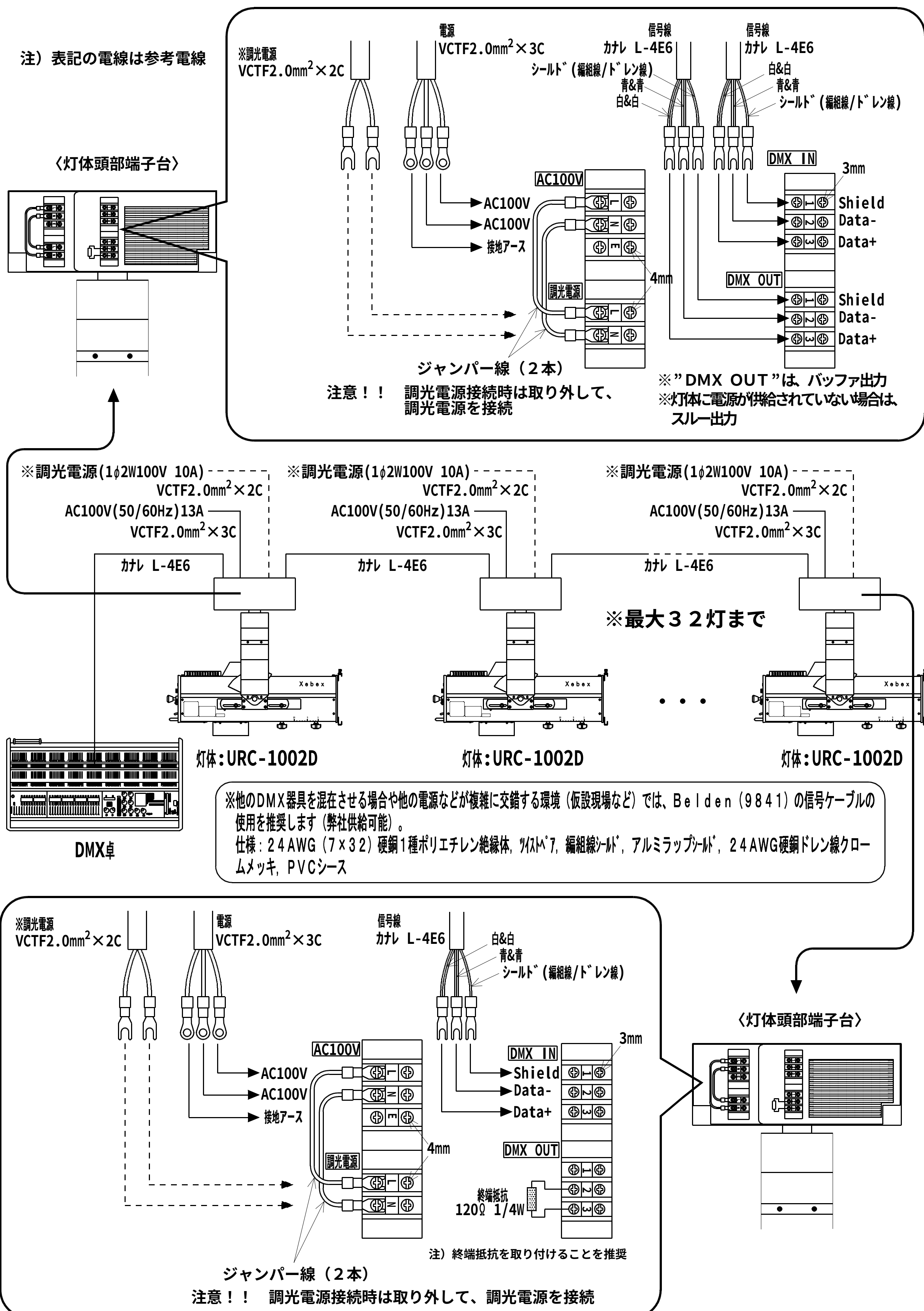


URC-DCB用1連ﾎﾞｯｸｽ(ｵﾌﾟｼｮﾝ)　　URC-DCB用2連ﾎﾞｯｸｽ(ｵﾌﾟｼｮﾝ)





（b）調光卓（DMX卓）

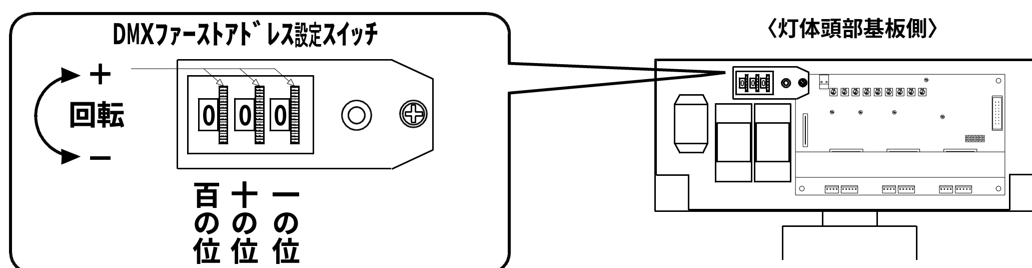

注）表記の電線は参考電線
〈灯体頭部端子台〉
※調光電源
VCTF2.0mm2×2C
電源
VCTF2.0mm2×3C
信号線
カナレ L-4E6
シールド（編組線/ドレン線）
青&青
白&白
AC100V
AC100V
AC100V
接地アース
調光電源
4mm
3mm
DMX IN
Shield
Data-
Data+
DMX OUT
ジャンパー線（２本）
注意！！　調光電源接続時は取り外して、調光電源を接続
※”DMX OUT”は、バッファ出力
※灯体に電源が供給されていない場合は、スルー出力
※調光電源(1φ2W100V 10A)
AC100V(50/60Hz)13A
※最大３２灯まで
灯体:URC-1002D
DMX卓
※他のDMX器具を混在させる場合や他の電源などが複雑に交錯する環境（仮設現場など）では、Belden（9841）の信号ケーブルの使用を推奨します（弊社供給可能）。
仕様：24AWG（7×32）硬銅１種ポリエチレン絶縁体，ツイストペア，編組線シールド，アルミラップシールド，24AWG硬銅ドレン線クロームメッキ，PVCシース
終端抵抗
120Ω 1/4W
注）終端抵抗を取り付けることを推奨

（4）DMXファーストアドレス設定

灯体が使用するアドレスの開始チャンネルを設定します。標準コントローラーを使用する場合は、常に”００１”（出荷時）の設定となります。

ＤＭＸ卓を使用する場合は、割り当てるチャンネルを設定します。１灯体につき６チャンネル使用しますので、連続してチャンネルを割り当てる場合は、６の倍数となります。

ロータリースイッチを回転させてチャンネル設定を行います。



連続して割り当てる場合の参考式：
設定チャンネル＝（割当開始チャンネル）＋（灯体番号－１）×６

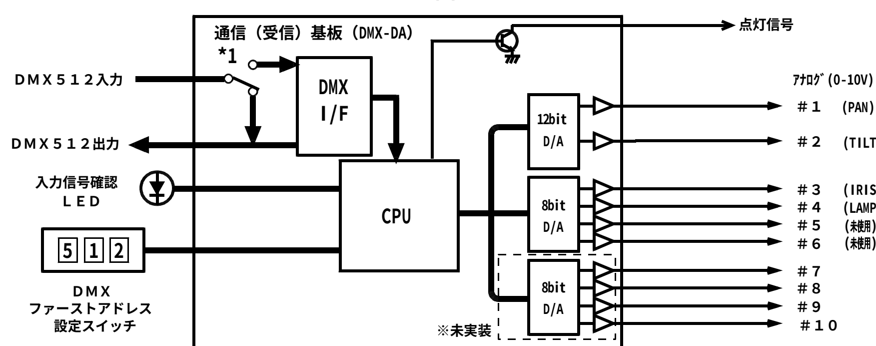
（5）DMXアドレス仕様

下表にＤＭＸアドレスを示します。ＰＡＮとＴＩＬＴは、２バイト制御となっており、微調が可能です。

《ＤＭＸアドレス表》

DMX ch.	機能	説　明		0-10V ch.
1	ＰＡＮ	高分解能出力	粗調	＃１
2		(4096分解)	微調（粗調の1/16）	
3	ＴＩＬＴ	高分解能出力	粗調	＃２
4		(4096分解)	微調（粗調の1/16）	
5	ＩＲＩＳ	256分解能出力		＃３
6	ＬＡＭＰ	256分解能出力	５０%以上で点灯	＃４
7	予約	256分解能出力	Ｄ／Ａ実装分	＃５
8	予約	256分解能出力	Ｄ／Ａ実装分	＃６
9	予約	256分解能出力	Ｄ／Ａ未実装	＃７
１０	予約	256分解能出力		＃８
１１	予約	256分解能出力		＃９
１２	予約	256分解能出力		＃１０

【ブロック図】



（モーター駆動基板(DRV-PF3)へ）

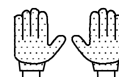
*1：灯体電源が入っている時は、バッファリング出力。入っていない場合は、スルー出力。

（6）電球の取付および交換

注意。電球は、出荷時に灯体と同梱されています。

①操作ハンドルを握り、後カバー開閉用ネジを緩めて、後カバーを開けてください。
②電球前後調整ノブをしっかりと握り、電球を引き抜き、取り外してください（電球交換する場合）。
③電球前後調整ノブをしっかりと握り、新しい電球を装着してください。電球は、口金部のみを持ち、電球の口金の根本まで、しっかりと差し込んでください。
④操作ハンドルを握り、隙間無く蓋をするように、後カバーを元に戻し、後カバー開閉用ネジを確実に締め付けてください。

後カバー開閉用ネジ
①緩める
④締める
①④握る
操作ハンドル
①開ける
④閉める
後カバー
②引き抜く
③差し込む
JCD100V−1000WC2電球
バルブ
フィラメント
口金
口金部
※手で触れて良い部分
③根本まで差し込む！！
電球ソケット
②③握る


安全のため、作業手袋・軍手等を必ず着用し、決して素手で作業しないでください。




・電球の取り扱いは、電球に添付の取扱説明書に従ってください。
・感電防止のため、電源プラグは必ず抜いてから行ってください。
・消灯直後の灯体及び電球は熱いので十分に冷えてから行ってください。
・電球はフィラメントの断線以外でも、ガラスの黒化や膨れ、フィラメントの変形等が認められる場合には、交換してください。
・電球は、直接素手で触らないでください。
万一触れた場合は、クリーニングタオル及び無水アルコールをしみ込ませた柔らかいきれいな布で拭き取ってください。

（７）フィルタフォルダ（オプション）の取付

①フィルタフォルダの大きさに合わせてカットしたカラーフィルタをフィルタフォルダに装着してください。
②差し込み枠固定ネジを緩め、フィルタフォルダを側面から差し入れてください。
③落下防止のために、上部の差し込み枠固定ネジを確実に締めてください。

☆その他の機器も同様な要領で、確実に取り付けてください。



フィルタフォルダ及びその他の機器を取り付ける場合は、適合品を使用してください。

（８）灯体のバランス調整

差し込み枠に機器を取り付けた場合など、灯体のバランスを調整します。

①灯体バランス調整固定ネジ（４ヶ所）を均一に緩めます。
②操作ハンドルを握り、およそ灯体のバランスが取れそうな位置に、灯体を前後に移動させます。
機器を取り付けた場合は、灯体を後ろへ移動させます。
③灯体バランス調整固定ネジ（４ヶ所）を確実に締めます。

ナット（４ヶ所）

１０㎜レンチの工具を用いて、４ヶ所のナットを緩め、灯体を前後に移動させて調整します。

灯体バランス調整固定ネジ（４ヶ所）
①緩める
③締める

Xebex

②前後に移動

スライド板　ガイド板

※この穴位置分移動します。


灯体質量は、約２６kgあります。危険ですので、無理をせずに二人で作業してください。

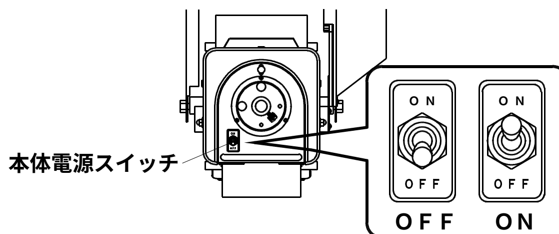
７．各部の操作方法

（１）灯体

灯体の本体電源スイッチは、メンテナンス時以外は、通常ＯＮのままにしてください。

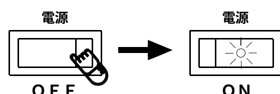
注意

このスイッチは、電球のＯＮ／ＯＦＦのみを行うもので、灯体のファンは、点灯操作（アイリスシャッタ開）を行わないと動作しません。



（２）専用コントローラー

〔全ての操作の開始〕



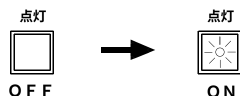
・電源スイッチをＯＮにします（スイッチが照光）。
注）電源投入時は、メモリバンク切替スイッチがＡの場合はメモリ１を、Ｂの場合はメモリ６を常に再生します。

〔通常操作〕



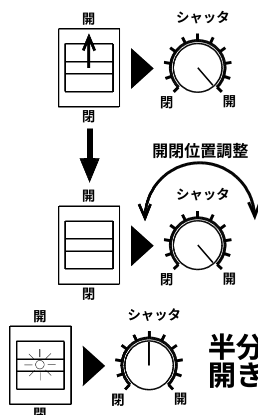
・キースイッチをコントロール側にします。
注）通常操作を行う場合は、常にコントロール側にします。

●点灯操作

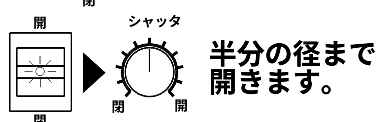


・点灯スイッチを押すと灯体の電球が点灯します（スイッチが照光）。
もう一度押すと消灯します。
注）アイリスシャッタを閉じていると電球は点灯しません。

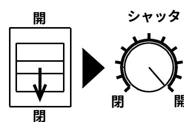
●シャッタ操作



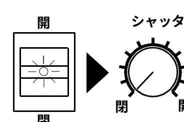
・シャッタ開閉スイッチを開側に倒すとアイリスシャッタが開きます（スイッチが照光）。この時、シャッタ開閉調整ボリュームの開位置まで、一定速度でアイリスシャッタが開きます。閉の時は、アイリスシャッタは閉じたままで電球も点灯しません。
シャッタ開閉スイッチを開にしたまま、アイリス開閉調整ボリュームを調整するとアイリスシャッタの径を開閉調整できます。シャッタ開閉スイッチを閉側に倒すと一定速度で全閉します。



半分の径まで開きます。

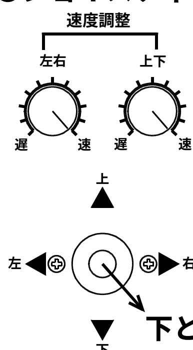


無条件で全閉します。



閉じたままです。ボリュームを調整すると開閉できます。

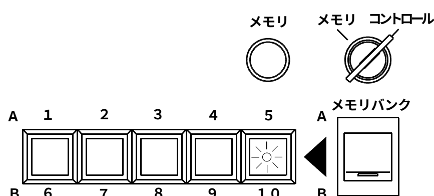
●ジョイスティック操作



下と右へ同時に動作

・灯体を動かしたい方向へジョイスティックを倒します。ジョイスティックを倒している間、灯体を上下（ＴＩＬＴ）、左右（ＰＡＮ）方向へ動かすことができます。
動作中または停止中のいづれでも、スピード調整ボリュームにより上下左右の速度調整ができます。
また、ジョイスティックを斜めに倒すことで、上下／左右同時に動かすことができます。

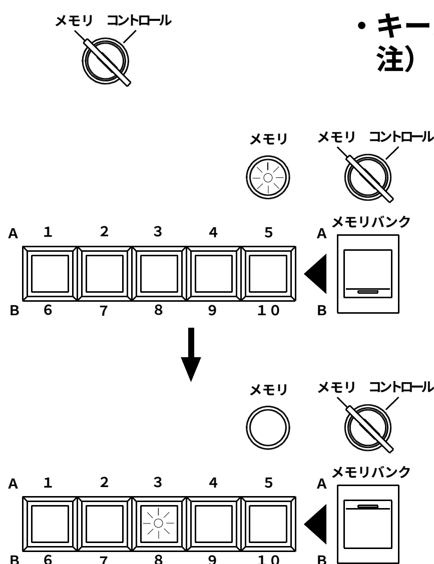
●メモリ再生操作



例）メモリ5（メモリバンクA）を再生

①再生させたいメモリバンク（ＡまたはＢ）を選択します。
メモリ１～５は、メモリバンクＡ、メモリ６～１０は、メモリバンクＢです。
②再生させたいメモリ（１～５または６～１０）のメモリボタンを押します。選択したメモリボタンが照光し、最高速度で、そのポジションを再生します。

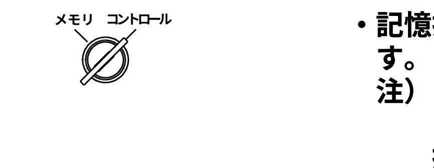
〔メモリ記憶操作〕



例）メモリ8（メモリバンクB）に記憶

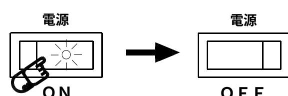
・キースイッチをメモリ側にします。
注）この状態でも、通常操作が行えます。

①記憶させたいポジションへジョイスティックで操作します。
注）記憶は、ポジション（ＰＡＮ／ＴＩＬＴ）のみです。
②メモリスイッチを押します（スイッチが照光）。
注）この操作は、不用意な記憶操作を防止するために、１アクション追加したスイッチです。
③記憶させたいメモリバンク（ＡまたはＢ）を選択します。
メモリ１～５は、メモリバンクＡ、メモリ６～１０は、メモリバンクＢです。
④記憶させたいメモリ（１～５または６～１０）のメモリボタンを押します。メモリスイッチが消灯し、選択したメモリボタンが照光します。この時点でポジションが記憶されます。
記憶操作を繰り返す場合は、①から繰り返し操作します。



・記憶操作を終了する場合は、キースイッチをコントロール側にします。
注）この状態にすることで、メモリ記憶操作が行えなくなります。キーは、抜き差しができます。キーを管理することで、メモリ記憶操作の保護が行えます。

〔全ての操作の終了〕



・電源スイッチをＯＦＦにします。
注）メモリ内容は、そのまま維持されます。

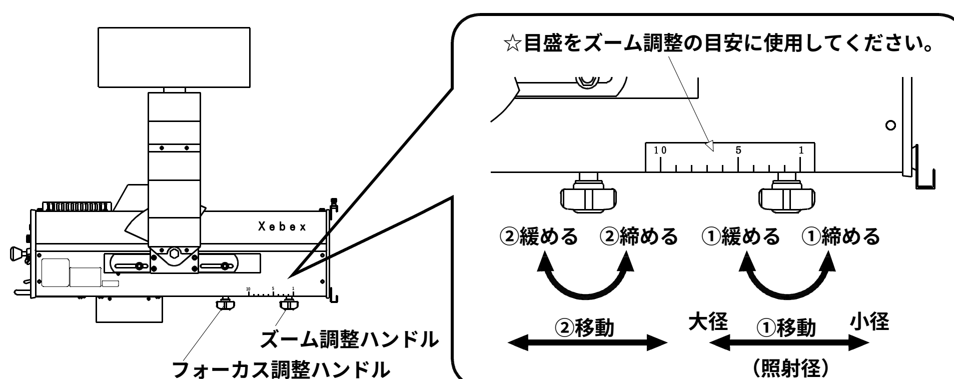
（３）調光卓（ＤＭＸ卓）

一般の調光卓（ＤＭＸ卓）を使用することができます。メモリ機能のあるＤＭＸ卓であれば、ポジション記憶以外に、アイリスシャッタの開閉位置、電球のＯＮ／ＯＦＦも記憶操作できることになります。スピード調整は、フェードタイムの設定で制御できます。前述した”ＤＭＸファーストアドレス設定”及び”ＤＭＸアドレス仕様”を参照してください。

８． 光学調整

（1）ズーム／フォーカス調整

①ズーム調整ハンドルを回して（緩め）、前玉レンズを移動させ、希望する照射径に合わせ、ズーム調整ハンドルを締めます。
照射径は、前方へ移動すると小さくなり、後方へ移動すると大きくなります。
②フォーカス調整ハンドルを回して（緩め）、後玉レンズを移動させ、ピントが合う位置でフォーカス調整ハンドルを締めます。

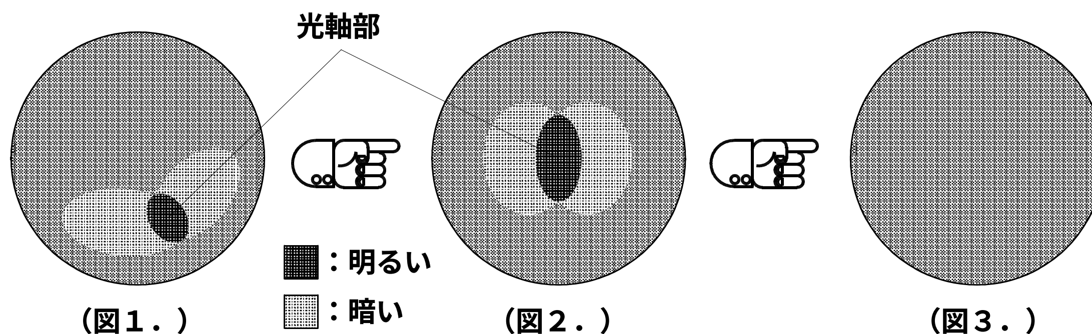


（2）電球調整

この調整は、電球取付および交換後に行うことにより、最適な”明かり”でお使いになれます。この調整は、決して難しい作業ではありませんが、ある程度の”慣れ”が必要です。

☆予め点灯させ、アイリスシャッタを全開にし、ズーム／フォーカス調整で、できるだけ大きい照射径にすると調整が行いやすくなります。

①電球前後調整固定ネジを緩めます。
②電球前後調整ノブを前後へ移動させ、一番明るい光軸部が照射径に出る位置で止め、電球前後調整固定ネジを仮締めします（図１．参照）。
③図１．の様に一番明るい光軸部が偏っている場合は、電球上下調整ネジおよび電球左右調整ネジを回し、光軸部が中心にくる様に調整します（図２．参照）。
④およそ図２．の様な照射径に調整した後、電球前後調整固定ネジを緩め、電球前後調整ノブを前後へ移動させ、光の分布が均一になる位置で電球前後調整固定ネジを締めます（図３．参照）。



（図１．）　（図２．）　（図３．）

電球上下調整ネジ
上
下
上　下
③調整

電球左右調整ネジ
右
左
左　右
③調整

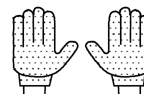
電球前後調整ノブ
後　前
後　前
②④調整

電球前後調整固定ネジ
①緩める　②仮締め
④緩める／締める
※⊖ドライバー使用

【電球寿命について】
・電球寿命は点灯回数及び点灯間隔、点灯時間により大きく左右されます。器具に組み込んだ場合の器具組込平均寿命は、次の通りです。
電球(JCD100V-1000WC2):・・・・・・・・・・器具組込平均寿命100時間

【電球のクレーム返送について】
・電球は、保存した箱、梱包材に戻し、弊社へ返送してください。不点灯電球に関しては、使用時間をお知らせください。輸送中の電球破損及び、お客様の取扱い上の誤りによる電球破損については、保証致しませんのであらかじめご了承ください。


初めて灯体を点灯するときは塗料の発煙・発臭を伴うことがありますが異常ではありません。３０分程度点灯することにより解消します。


安全のため、作業手袋・軍手等を必ず着用し、決して素手で作業しないでください。


９．メンテナンス

（１）レンズおよび吸気孔／排気孔の清掃

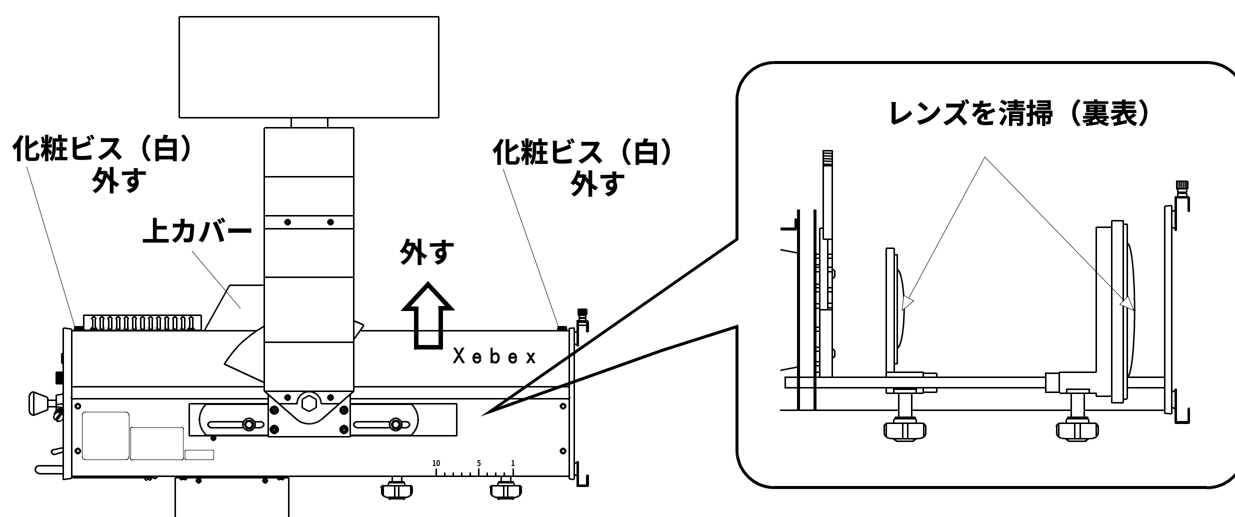


必ず灯体へ電源供給しているブレーカーをＯＦＦにし、灯体の本体電源スイッチをＯＦＦにしてから行ってください。
安定した足場の上で作業し、上カバーを落下させないように注意してください。

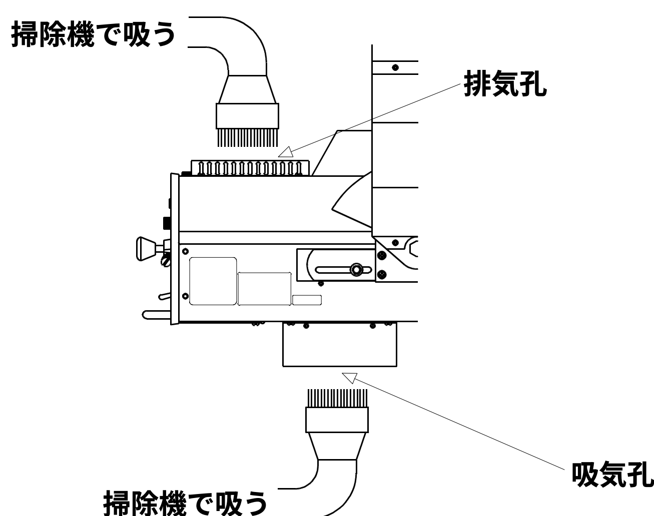
レンズ（前玉、後玉）清掃において、住宅・家具用合成洗剤等を使用して清掃した場合は、乾いた柔らかい布で完全に洗剤を拭き取ってください。

吸気孔／排気孔の清掃は、付着した埃などを掃除機等を使用して汚れを吸い取ってください。

☆レンズは、灯体の上カバーを外し、ピントの調整の要領で、清掃を行いやすい位置にレンズを移動してから清掃してください。清掃後は、確実に元に戻してください。

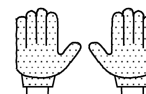


※全てネジですので、左に回すと緩み、右に回すと締まります。





安全のため、作業手袋・軍手等を必ず着用し、決して素手で作業しないでください。



１０．故障診断

機器に異常が発生した場合、以下の確認・対処を行ってください。対処しても異常が修まらない場合は、故障と判断し、弊社へ修理依頼をお問い合わせください。

電球が点灯しない

①灯体の本体電源スイッチがＯＮになっているか確認してください。
対処 灯体の本体電源スイッチをＯＮにしてください。
②アイリスシャッタが開になっているか確認してください。
対処 アイリスシャッタを開いてください。
③電球が取り付けられているか確認してください。
対処 電球を取り付けてください。
④電球（フィラメント）が切れていないか確認してください。
電球を交換してください。
⑤灯体へ電源供給しているブレーカーがＯＮになっているか、または、調光電源が供給されているか確認してください。
対処 ブレーカーをＯＮするか、調光電源を供給してください。
⑥専用コントローラーおよび調光卓の電源がＯＮになっているか、電球の点灯操作を行っているか確認してください。
対処 各電源をＯＮにし、点灯操作を行ってください。

異常音を発生する

①吸気孔および排気孔が埃等で汚れていないか確認してください。
対処 吸気孔および排気孔を掃除してください。

異臭がする

①灯体内部に紙吹雪等の異物が入っていないか確認してください。
対処 灯体の上カバーを外し、内部に入った異物を取り除いてください。

灯体が全く動作しない

①灯体および専用コントローラーまたは調光卓へ電源供給されているか確認してください。
対処 各々へ電源供給してください。
②灯体のＤＭＸ信号モニターＬＥＤランプ（緑）が点灯しているか確認してください。
対処 点灯していない場合は、専用コントローラーまたは調光卓の電源をＯＮにするか、信号線の接続（コネクタ類など）を正しく行ってください。

灯体が変な動作をする

①ＤＭＸファーストアドレス設定スイッチが正しく設定されているか確認してください。
対処 正しく設定し直してください。

専用コントローラーの電源スイッチがＯＮにならない

①ヒューズが切れていないか確認してください。
対処 ヒューズを交換してください。

１１．日常点検項目と修理依頼

日常点検は、ご購入頂いた照明器具の性能維持と操作の安全を確保するために必要です。以下の日常点検チェックリストに基づき日常点検を励行され、安全に十分ご留意の上ご使用ください。

日常点検チェックリストに基づいて点検した結果、修理依頼が必要な場合は、ご使用を控えて弊社までお問い合わせください。

また、以下の場合は直ちにご使用を中止し、弊社へ修理依頼をお問い合わせください。

●点灯中に灯体から異臭および煙を生じる。
●点灯中（アイリスシャッタ開）に灯体の電球冷却ファンおよび排気ファンの回転音がしない。

日常点検チェックリスト

日　常　点　検　項　目	処　置　内　容				
１．電球	増締め	交換	清掃	調整	修理依頼
(1)電球に損傷、ぐらつき、異常変色はありませんか		○			
(2)電球のバルブに膨れ、異常変色はありせんか		○			
(3)電球のバルブにぐらつきはありませんか		○			
(4)電球の口金が焼損していませんか		○			
(5)電球が電球ソケットに確実に装着されいますか				○	
(6)電球のバルブは汚れていませんか			○		
２．灯体	増締め	交換	清掃	調整	修理依頼
(1)落下防止ワイヤーに損傷はありませんか		○			
(2)灯体、アームに異常変形、損傷はありませんか					○
(3)差し込み枠に変形、損傷はありませんか					○
(4)差し込み枠固定ネジに変形、損傷はありませんか					○
(5)フィルタフォルダ等に破損、変形はありませんか					○
(6)フィルタフォルダ等は確実に取付られていますか	○				
(7)電球ソケットに変色、ひび割れ、焼損はありませんか					○
(8)前玉レンズ、後玉レンズは汚れてていませんか			○		
(9)リフレクタに変形、損傷はありませんか					○
(10)前玉レンズ、後玉レンズにひび割れ、破損はありませんか					○
(11)吸気孔または排気孔が汚れていませんか			○		
(12)灯体内に塵や紙吹雪はありませんか					○
(13)ネジ類に緩みはありませんか	○				
３．専用コントローラー	増締め	交換	清掃	調整	修理依頼
(1)電源コードに変色、亀裂、変形はありませんか					○
(2)電源プラグの接続部に変色、焼損はありませんか					○
(3)電源プラグの着脱状態は良いですか					○
(4)スイッチ類に破損、損傷はありませんか					○
(5)ネジ類に緩みはありませんか	○				



必ず灯体および専用コントローラーまたは調光卓の電源供給を中止し、灯体の本体電源スイッチをＯＦＦにしてから点検を行ってください。

定期点検のお勧め

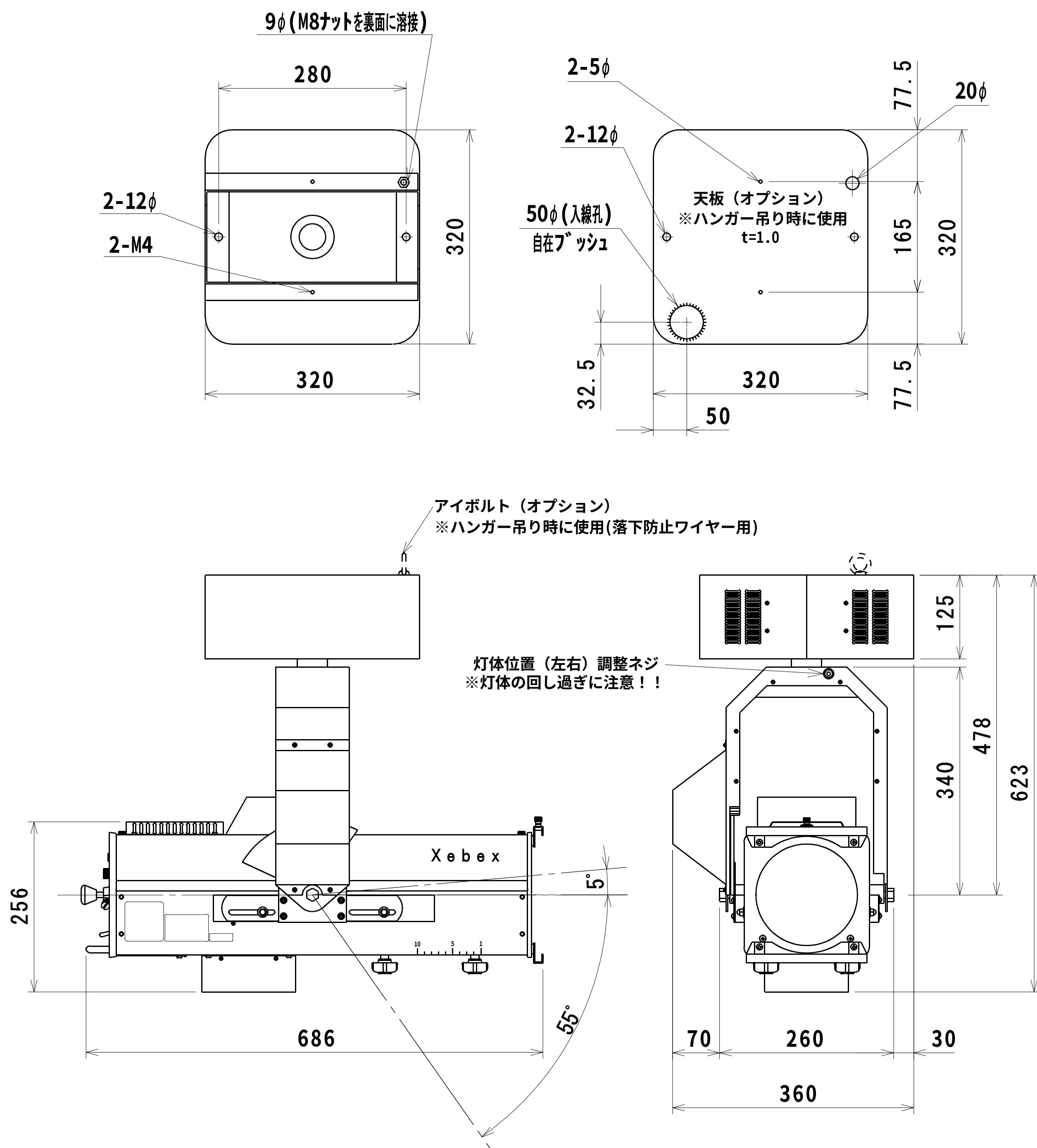
　使用期間における経年変化または、ご使用状況によっては消耗、劣化する部品や絶縁の低下がありますので、専門技術者による定期点検をお勧めします。定期点検については、弊社へお問い合わせ願います。弊社の専門技術者がお伺い致します。

修理依頼について

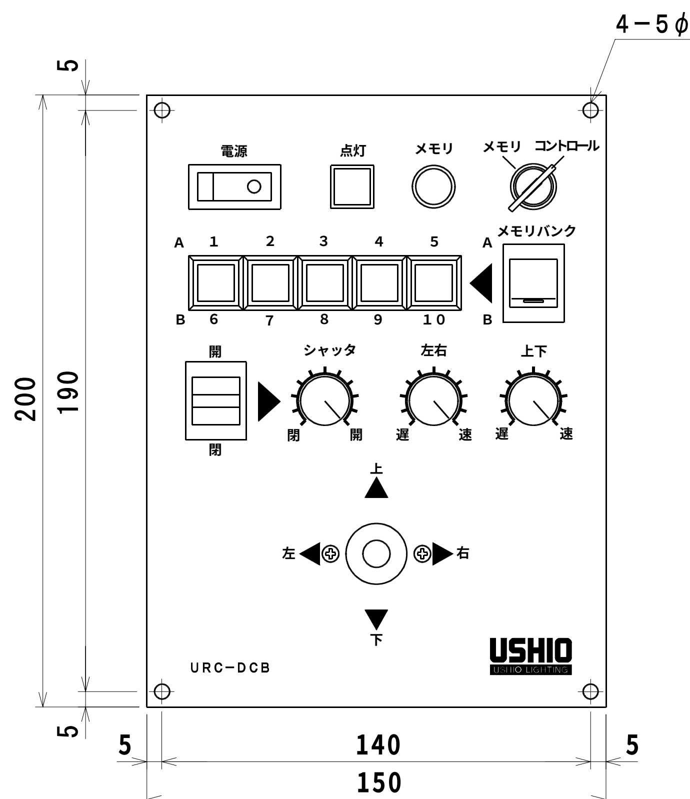
　日常点検チェックリストに基づいて点検した結果、修理依頼の必要がある場合、およびその他の異常がある場合は弊社へ修理依頼をお願いします。弊社の専門技術者がお伺い致します。また、修理依頼される場合は、異常状態の確認、交換部品選定のため、次の点についてお聞かせください。

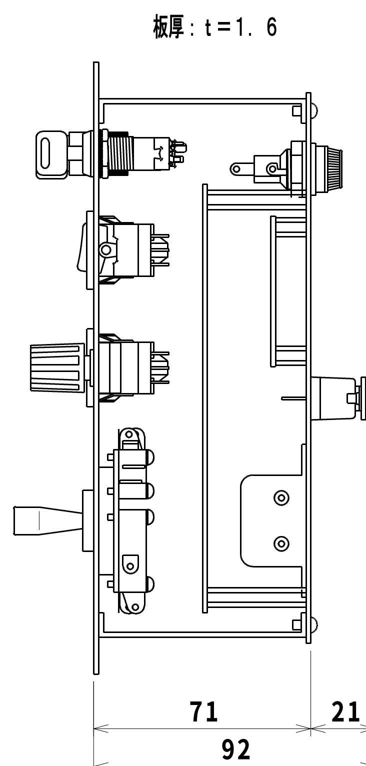
●ご購入年月日
●ご購入先代理店名
●灯体の型式・製造年月・製造番号
●ご使用状況及び異常状態の詳細（取扱説明書に記載の№）

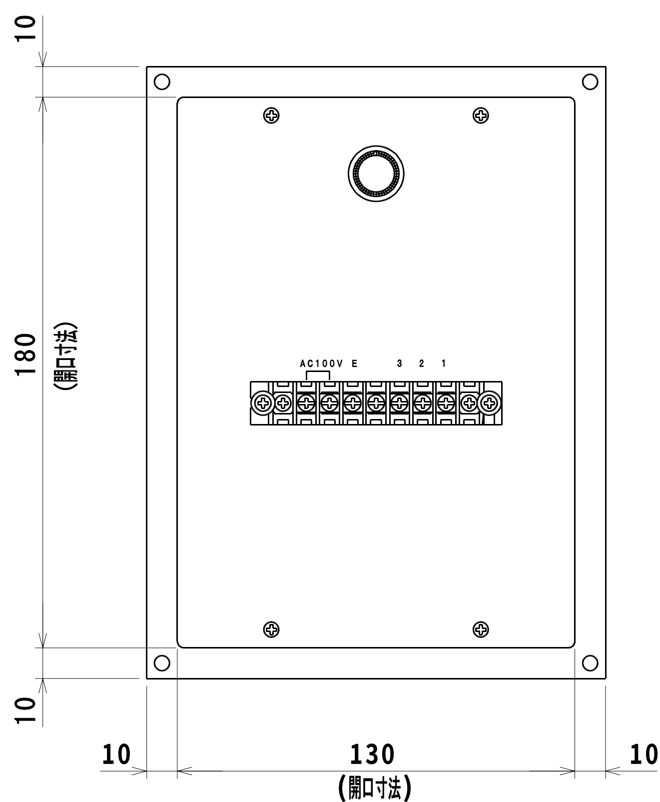
灯体外観寸法図（ＵＲＣ－１００２Ｄ／ｅ）



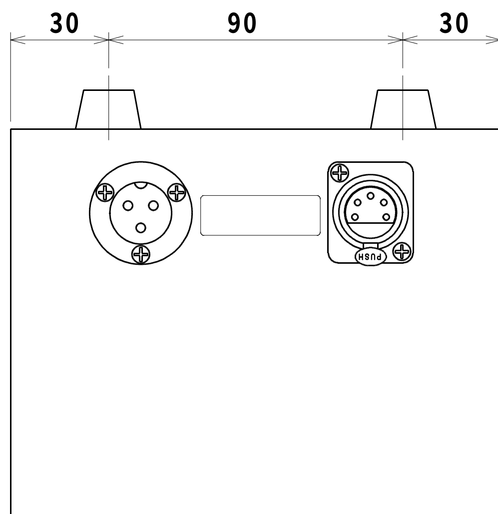
専用コントローラー外観寸法図
（ＵＲＣ－ＤＣＢ）

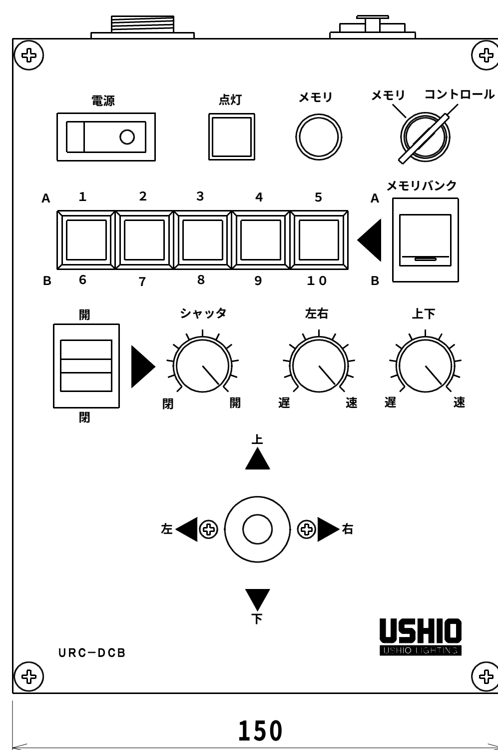


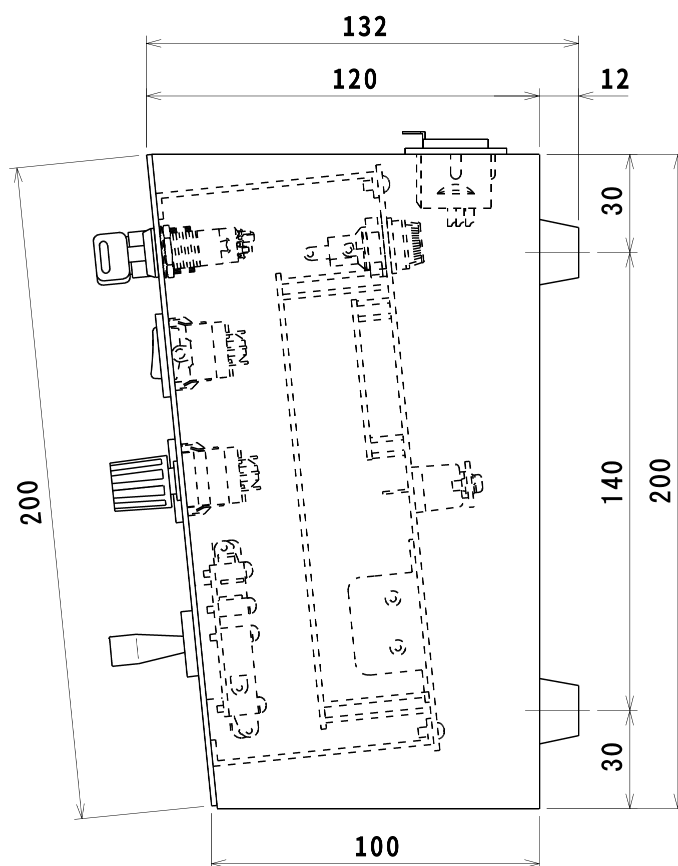




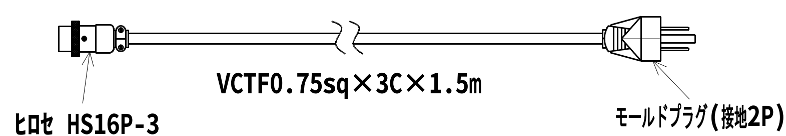
ＵＲＣ－ＤＣＢ用１連ボックス外観寸法図



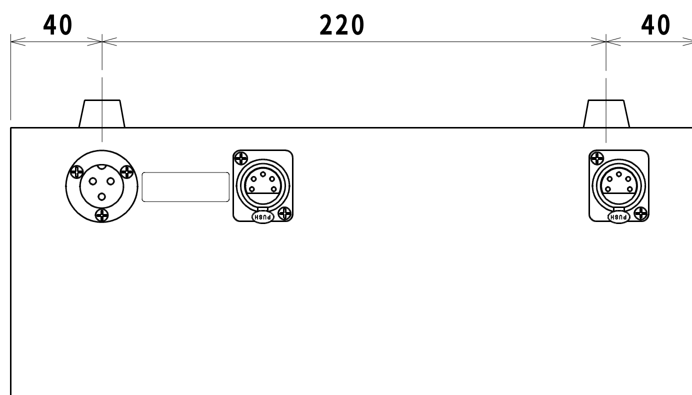


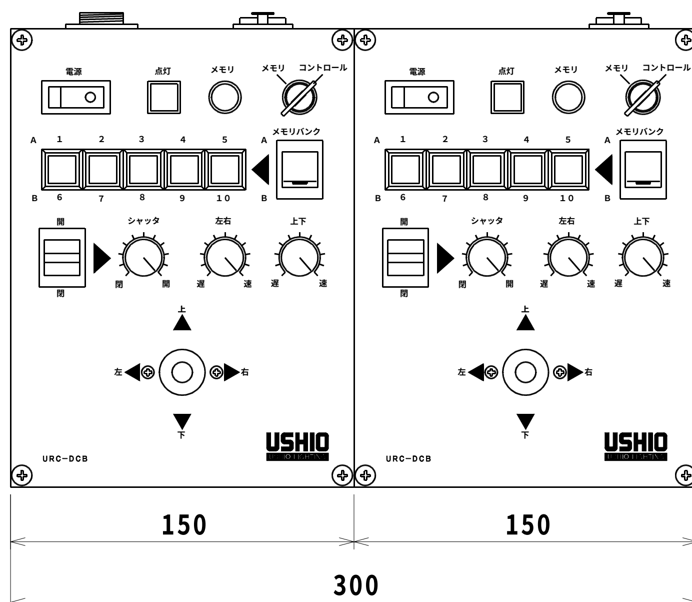


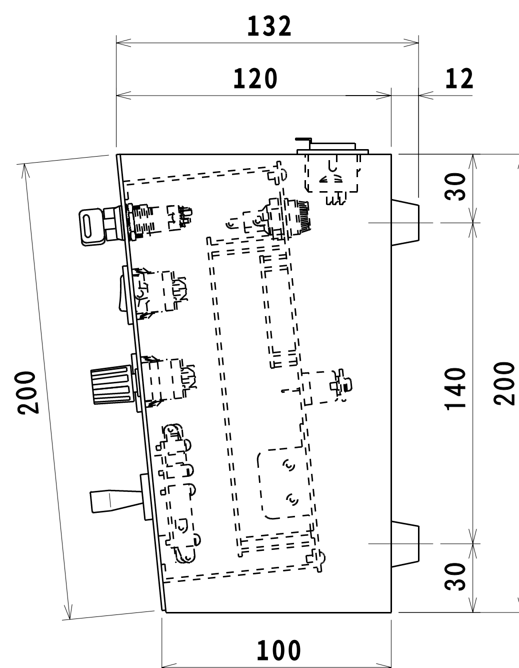
付属品：電源ケーブル×１及び４㎜トラスネジ×４



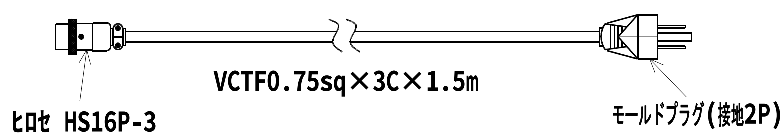
ＵＲＣ－ＤＣＢ用２連ボックス外観寸法図







付属品：電源ケーブル×１及び４㎜トラスネジ×８



１２．主な仕様

機器構成		主な仕様			
灯体型名	ＵＲＣ－１００２Ｄ／ｅ	定格電圧	単相１００Ｖ		
		消費電力	１，１９０Ｗ		
		定格周波数	５０／６０Ｈｚ		
		入力電流	１２Ａ		
		最高周囲温度	４０℃		
		最高表面温度	７３℃		
		最小照射距離	１.５ｍ		
		最小離隔距離	０.１ｍ		
		使用角度範囲	５° ５５°		
		入力ケーブル	電源ｹｰﾌﾞﾙ及び信号ｹｰﾌﾞﾙ：別途		
		接　続	端子台接続		
		本体質量	２６kg		
		本体寸法	H623×W360×D686mm		
		照度データ	照射距離	最小照射径	照　度
			５ｍ	１．１０ｍ	10,400 lx
			１０ｍ	２．２０ｍ	2,600 lx
		最大径は1.5倍以上	１５ｍ	３．３０ｍ	1,200 lx
		光度分布50%	２０ｍ	４．４０ｍ	650 lx
		騒　音	距離１ｍ　４５ｄＢ以下		
		材　質	鉄板及びアルミダイキャスト		
		塗装色(ﾏﾝｾﾙ値)	アイボリーホワイト５Ｙ８／１		
		上下動作角度	水平より上向き５゜下向き５５゜		
		上下動作速度	０．６゜～８．１゜／秒		
		左右動作角度	３２０゜		
		左右動作速度	０．７゜～９．４゜／秒		
		アイリス開閉速度	３秒		
		制御信号	USITT DMX-512/1990		
		使用チャンネル数	6ch.(1:PAN,3:TILT,5:IRIS,6:ﾗﾝﾌﾟ)		
		その他	調光電源接続可		
			ＤＭＸファーストアドレス設定可		
			ＤＭＸ信号バッファリング／スルー		
			１２０Ωターミネータ必要		
適合ランプ	ＪＣＤ１００Ｖ－１０００ＷＣ２	点灯電圧	１００Ｖ		
		定格消費電力	１，０００Ｗ		
		定格電流	－		
		全光束	２６，０００ lm		
		色温度	３，２００Ｋ		
		冷却方法	強制空冷		
		器具取付ﾗﾝﾌﾟ平均寿命	１００Ｈ		
		口　金	Ｇ９．５		
		適合ソケット	Ｊ－１０		

機　器　構　成		主　な　仕　様	
専用コントローラー	ＵＲＣ－ＤＣＢ	定格電圧	単相１００Ｖ
		消費電力	２６０Ｗ
		定格周波数	５０／６０Ｈｚ
		入力電流	３Ａ
		入力ケーブル	電源ｹｰﾌﾞﾙ及び信号ｹｰﾌﾞﾙ:別途
		接　続	端子接続
		本体質量	１．４kg
		本体寸法	H200×W150×D92mm
		材　質	鉄板
		塗装色(ﾏﾝｾﾙ値)	黒半ツヤＮ－１．０ 文字：ゴシック体（白）
		適合灯体型式	ＵＲＣ－１００２Ｄ
		出力信号	USITT DMX-512/1990
		出力チャンネル	6ch.(DMXﾌｧｰｽﾄｱﾄﾞﾚｽ設定可能)
		ポジション記憶数	１０ポイント（ＭＡＸ）
		電源投入時の再生ﾒﾓﾘ	メモリ１またはメモリ６
		制御可能灯数	１灯（１対１）
		オプション	1連ﾎﾞｯｸｽ(型式:URC-DCB/B1) 付属品:電源ｹｰﾌﾞﾙ×1,取付用ﾋﾞｽ×4
			2連ﾎﾞｯｸｽ(型式:URC-DCB/B2) 付属品:電源ｹｰﾌﾞﾙ×1,取付用ﾋﾞｽ×8

ウシオライティング株式会社

東京本社　〒１０４－００３２　東京都中央区八丁堀２－９－１
秀和東八重洲ビル５Ｆ
TEL.０３（３５５２）８２６４㈹

大阪支店　〒５３２－０００３　大阪府大阪市淀川区宮原４－１－６
アクロス新大阪ビル１２Ｆ
TEL.０６（６３９５）６１６１㈹

名古屋支店　〒４５０－０００２　名古屋市中村区名駅５－７－３０
ＯＲＥ名駅東ビル１Ｆ
TEL.０５２（５８９）１３４０㈹

福岡営業所　〒８１２－００１６　福岡市博多区博多駅南１－８－１２
博多駅南ＭＴビル３Ｆ
TEL.０９２（４１１）５９４５㈹